

コロナ禍でも積極採用

県内中小15社 経産省が公表

経済産業省は23日、新型コロナウイルス流行下でも積極的に新卒採用を続けている、県内15社を含む全国の中堅、中小企業889社を公表した。各地の魅力ある企業の情報を提供し、就職難に直面している学生を

支援する。11月に第1弾として発表した503社のリストを拡充した。

経産省が「地域未来けん引企業」や「グローバルニッチトップ企業」などを選定している各地の優良企業の中から、採用活動を継続している企業を一覧にした。新型コロナウイルスの打撃で業績が悪化し、多くの企業は新

規採用数を絞っている。文部科学省などによると、10月1日時点の大学生の内定率は前年より7%低下。リーマン・ショックの影響を受けた2009年以来の落ち込み幅となった。ただ事業を拡大している業種もあり、以前から人手不足に悩んでいた企業は採用拡大の好機と捉えている。

県内の企業は次の通り。
揖斐川工業(大垣市)大垣精工(同)大野ナイフ製作所(関市)おひさま(中津川市)セントパーツ(羽島市)DAISEN(中津川市)丹羽鑄造(関市)ハイビックス(瑞穂市)光製作

所(羽島郡笠松町)ひでびよん(揖斐郡大野町)本陣平野屋(高山市)ミズタニバルブ工業(山県市)美濃工業(中津川市)ヤマガタヤ産業(羽島郡岐南町)リーピー(岐阜市)